

* 第2次試験における平成30年度からの主要変更事項について

すでに試験案内等でご案内しておりますとおり、第2次試験の筆記試験における平成30年度からの運営方法の主要変更事項は次のとおりです。

1. 試験時間の変更について

- ・一部の科目について、試験開始時間・終了時間を変更します（これにともない、休み時間も一部変更します）。
- ・変更後の時間割については下記のとおりです（色塗り部分に変更箇所です）。
- ・なお、試験時間につきましては、各科目の試験問題の表紙にも記載してあります。

時間	分数	試験科目
9:40～11:00	80	A 中小企業の診断及び助言に関する 実務の事例Ⅰ
11:00～11:40	(40)	(休み時間)
11:40～13:00	80	B 中小企業の診断及び助言に関する 実務の事例Ⅱ
13:00～14:00	(60)	(休み時間)
14:00～15:20	80	C 中小企業の診断及び助言に関する 実務の事例Ⅲ
15:20～16:00	(40)	(休み時間)
16:00～17:20	80	D 中小企業の診断及び助言に関する 実務の事例Ⅳ

2. 問題用紙の持ち帰りについて

- ・試験時間中は問題用紙の持ち帰りを認めません。途中退室した場合は、当該科目の試験終了後に持ち帰り可能とします。
- ・途中退室される場合の解答用紙や問題用紙等の取り扱いにつきましては、下記のとおり
お願い申し上げます（試験問題の表紙にも記載してあります。）

「5. 試験開始後30分を経過してから終了5分前までの間に退室する場合は、解答用紙と受験票を監督員席まで持参して、解答用紙を提出してから退室してください。なお、その際には、問題用紙も、表紙の下部に受験番号を記入したうえであわせて持参してください。途中退室時は問題用紙を試験室から持ち出すことはできませんので、問題用紙も監督員が回収します。

問題用紙は、当該科目の試験終了後に該当する受験番号の席に置いておきますので、必要な方は当該科目の試験終了後20分以内に取りに来てください。それ以降は回収します。回収後はお渡しできません。なお、問題用紙の紛失については責を負いませんのでご了承ください。」

以上